

## 2-5. 注目スタートアップ①

### 大阪ヒートクール株式会社

#### サービス内容

温度による痛みの錯覚を利用し、皮膚を傷つけることなくひっかいたような感覚を与えられる、かゆみ緩和デバイス「Thermo Scratch」の開発に取り組む。

#### 大阪産業局の関わり、成果等

- ・2022年2月開催Hack Osaka 2022のテーマセッション登壇
- ・2022年開催Medtech Actuator Origin Japan 日本代表
- ・グローバル・スタートアップ・アクセラレーションプログラム 2023 Deep Tech採択

拠点都市への支援メニュー活用



Osaka Heat Cool



### 株式会社 EX-Fusion

#### サービス内容

レーザー核融合商用炉の実用化に向けたレーザー照準システムの開発を行う、大阪大学発スタートアップ

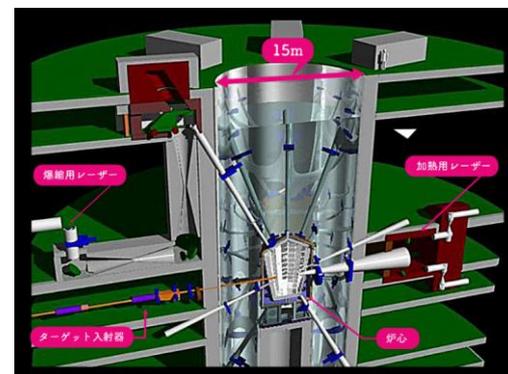
#### 大阪産業局の関わり、成果等

- ・関西スタートアップインキュベーションプログラム「起動」第1期採択
- ・2023年9月OIH起業家ライブラリにて、共同創設者兼CEO松尾氏インタビュー
- ・2023年12月開催 Hack Osaka 2023 2nd. Edition ～Accelerating innovation in Osaka～」に基調講演登壇

OIHのプログラム活用



EX-Fusion



## 2-5 . 注目スタートアップ②

### 株式会社OTENTO

#### サービス内容

サービスを利用するお客様等からの「ありがとう」や「エール・称賛」といった、人の心を可視化し、感謝や賞賛を手軽に贈れるプラットフォーム「OTENTO」を提供。

#### 大阪産業局の関わり、成果等

- ・2023年OSAP第14期採択
- ・2023年8月OIH起業家ライブラリにて、代表取締役/CEOの鳥居本氏にインタビュー
- ・OIHを通じての企業との個別面談やマッチング等を実施。

#### OIHのプログラム活用



### 株式会社ミーバイオ

#### サービス内容

微生物の代謝経路を光によって制御する「光スイッチタンパク質」の技術を活用して、バイオものづくりの課題解決に取り組む。

#### 大阪産業局の関わり、成果等

- ・2022年関西スタートアップインキュベーションプログラム「起動」第1期採択
- ・2023年HeCNOS Award カーボンニュートラル分野の企業に採択、2025年大阪関西万博への出展に向けて、取り組む。

#### OIHのプログラム活用

# mībio

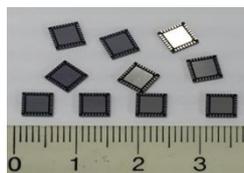
光スイッチタンパク質で  
バイオエコノミー社会に革新を

基礎研究から応用分野まで科学の発展を支え、  
地球の持続可能性・循環型社会、および、  
世界の人々が豊かに生きる社会の実現を促す。

## 2-6. 産学官連携（大学の技術シーズの事業化支援）

### 大阪市イノベーション創出支援補助金

- 【目的】
- 大学の持つ研究・技術シーズをもとにした産学連携の研究開発に係る費用の一部を補助
  - 実用化に向けた取組みを推進し、もって本市の経済活性化及びイノベーション創出を図る
- 【概要】
- 補助対象は**国内の大学**
  - **大阪市内に事業所を有する**民間企業又は個人との連携事業（※特例あり）
  - **補助率：2分の1（上限額200万円）**
- 【成果】
- **R4年度までに119件、23大学に交付（うち17件が実用化済）**



(株)SIRC



あっと株式会社

**(株)SIRC**（大阪市立大学発ベンチャー）

- 1辺約5mmという超小型電力センサの開発

**あっと株式会社**（大阪大学発ベンチャー）

- 指先を傷つけない毛細血管観察画像観察装置の開発

**(株)mediVR**（大阪大学発ベンチャー）

- VR技術を用いたリハビリ機器を開発、販売



(株)mediVR

### 3. 前回評議会における主なご意見について

#### 【資金調達環境の改善について】

- 資金調達額の目標額 80 億円に対し、既に達成できており、すばらしい成果。
- (コロナ禍等国際的な環境変化により) 資金調達環境が厳しくなったなか、スタートアップの次の資金調達をエコシステムがどうやって支えていくのかという正念場ではないか。

#### 【経営人材の確保について】

- 特にシード・アーリー期のスタートアップについてはとても人材不足の状況であるので、人材確保の取り組みに力を入れてほしい。

#### 【情報発信について】

- 情報発信に関して、なぜ大阪が優れているかというエコシステムを見える化する発信を増やしていくとよい。
- どのように情報を拡散させていくのかについて分析していく必要がある。

#### 【ディープテック支援について】

- 関西では大学発ベンチャーが大きな領域になっているので、そこに対する支援はこれまで以上にしてほしい。
- エコシステムのブランディングに関して、大阪・関西ではディープテックや AI & ロボティクスなどどの分野のスタートアップを集中支援するか考えて行く必要があるのではないか。

#### 【万博へのスタートアップの参画について】

- 万博に関わりたいというスタートアップが非常に多い。大阪・関西のスタートアップが参加できるような形が作ればと考える。
- 万博などを機に若い人たちが集まるような施策を進めていくべき。

#### 【起業家教育について】

- 起業家教育で国際人材育成プログラムを入れてはどうか。

## 4. 令和6年度のスタートアップ支援について

従来の取組を推進するとともに以下の点に一層注力する。

### 1. 創業支援、シード期アーリー期スタートアップに対する支援の強化

### 2. 世界が注目する成長分野でのスタートアップの創出

①起動

②カーボンニュートラル

### 3. 民間企業の大阪スタートアップエコシステムへの参画の促進

## 4-1. 創業支援、シード期・アーリー期スタートアップに対する支援の強化①

### (1) OIH会員（約1,300者）の分析からの取組

未起業の学生・個人会員、企業の新規事業担当の個人会員、個人事業主、創業後10年以上経過した企業、既にIPOした企業などを除くと、約500者が現在活動中のスタートアップとなる。

#### 【この500者については、】

- ・ 5割以上がVC等からの資金調達実績なし
- ・ 9割以上がアーリー期（※）以下のステージ

※シード期は、PMI（商品のリリース）前の段階を想定。

アーリー期は、PMI～収益化の段階を想定。

#### 【今後の方向性】

スタートアップの成長において、最も厳しい段階といえるアーリー期以下のところに対して、支援を充実させ、起業支援に貢献していく。

#### 【具体のプログラム】

##### ○起業希望者やアーリー期以下のスタートアップに対する個別伴走支援の強化

それぞれの専属担当者となるOIHスタッフを配し、緊密なコミュニケーションを図り、課題解決のための相談、VC等とのマッチングによる連絡支援など、これまで以上にきめ細かな支援に取り組む。

### (2) ピッチイベントの充実

スタートアップとVC等の連携となるピッチイベントの回数を増やして実施する。

#### ・OIH スタートアップピッチ

シード、アーリー期のOIHプレイヤー会員のビジネスアイデアやプランのブラッシュアップ、壁打ちピッチの練習会とし、また、プレイヤー会員との接点やサポート機会の提供のため、引き続き定例プログラムとして開催

#### ・うめきたピッチ

事業連携ニーズを持つスタートアップと大企業のマッチングイベントを実施し、連携の実現やPoCの実施につなげる。

#### ・VCミートアップ

資金調達ニーズのあるスタートアップとVC等のマッチングのイベントを実施する。併せて、VCやスタートアップ投資に関心のある大手企業とのネットワークの強化に取り組む。

### (3) アクセラレーションプログラムの充実

アーリー期スタートアップを対象に、企業経験者からのアドバイスや大企業・VC等との連携により事業成長を加速するプログラム（OSAP）を実施する。この中では、スタートアップの課題を総点検し、強化・改善すべき点にフォーカスした伴走支援に取り組む。

## 4-2. 世界が注目する成長分野でのスタートアップの創出① 起動について

### 事業概要

- ・世界が注目する成長分野でスタートアップを創出するため、関西圏の企業・大学・自治体のリソースを結集させたインキュベーションプログラム「起動」(第1期)を実施(2022年4月~9月)。
  - ・(公財)大阪産業局が民間企業からの協賛で運営している。
  - ・最大1,000万円の事業資金と全国トップクラスのキャピタリスト等、専門家による6か月のハンズオンを提供。173件の応募があり、5者のプロジェクトを採択。
  - ・支援により、協賛企業と連携した実証実験の決定、新商品の開発、資金調達、大阪ヘルスケアパビリオン出展候補者への決定などの成果があった。
- (【第2期】エントリーを開始。応募締切：2023年12月8日)



### 支援内容 (第1期)

	事業内容	支援内容
リバーセル株式会社	・多能性幹細胞からのキラーT細胞再生技術を用いたがん免疫細胞療法の技術開発および事業化	VC・事業会社の紹介、競合・市場情報の提供、資本政策の検討、VCメンターによる壁打ち、特許調査の実施、補助金申請・採択に向けたサポート 等
株式会社 OPTMASS	・透明太陽電池の研究開発 ・熱線制御技術の研究開発 ・熱線制御能を有するナノ粒子の生産販売	VC、起業家メンターによる事業計画のブラッシュアップ、知財戦略の相談対応、組織設計・人材採用の相談対応、関西経済界や起動協賛企業との交流機会の提供による実証実験決定 等
株式会社 EX-Fusion	・レーザー核融合の研究開発 ・核融合商用炉の実現に向けた技術開発	資金調達支援、補助金申請・採択に向けたサポート、起動パートナー企業と実験設備構築時のリスク対応にかかる保険を開発 等
株式会社 ミーバイオ	・「光スイッチタンパク質」を活用した、バイオものづくりのスケールアップを解決するための新規生産システムの開発、光スイッチ研究用試薬・コンディショナルノックアウトマウスの開発と販売	関西の財界関係者・大企業担当者・地域のキーパーソン・起業家仲間等との交流機会の提供、大阪ヘルスケアパビリオン出展のサポート、VCメンター、起業家メンターのメンタリングによるビジネスプランのブラッシュアップ 等
株式会社 fucro	・医療AI開発、開発人材育成支援 ・医療システムの開発と提供 ・臨床研究支援	起動パートナー企業とのPoC実現。自社プロダクトやサービスに対する保険に加え、自社サービスを活用して賠償事故が減少した場合の医師賠償責任保険等の再設計などを検証、大阪ヘルスケアパビリオン出展のサポート 等

## 4-2. 世界が注目する成長分野でのスタートアップの創出②

カーボンニュートラル等新技术ビジネス創出支援事業（事業費：30,000千円）

### 事業概要

・CN分野を中心に大学等の有望な新技术を発掘、スピード感を持ってビジネス化支援を進め、万博での出展や実証実験等で活躍するスタートアップを輩出する（R4年度～）。



### これまでの取り組み状況（R4年度～R5年度）

#### ① 専門人材による有望なスタートアップの発掘

➤ 大阪・関西万博への出展をめざすスタートアップ企業や、大学研究室（学生含む）等の取組を公募（各年度10社）。専門人材等によってビジネス化を支援。

#### ② パビリオン出展企業参加のもと、協業に向けたビジネスプランや連携提案の策定支援を実施

➤ 万博出展等をめざすスタートアップ等を募集し、R4年度は株式会社パソナグループとワークショップを実施  
➤ R5年度は電気事業連合会、株式会社パソナグループ、株式会社バンダイナムコエンターテインメントの3社と実施

③ 併せて万博出展に向けて、実証実験場所の提供や、投資・事業連携等の支援を要請できる大企業・VCとのネットワークを構築。

### R6年度以降の取り組み内容

#### 万博会場における魅力的な出展に向けた支援

➤ 万博（企業パビリオン、大阪ヘルスケアパビリオン等）への出展が確定しているスタートアップに対して、魅力的な展示に向けた支援を実施する。  
（例）展示に向けた支援、プロトタイプ製作を担う企業とのマッチング支援など

➤ 上記ワークショップ等で支援したスタートアップが、これまでネットワークを構築してきた企業パビリオン等に魅力的な出展ができるよう調整。

## 4-3. 民間企業の大阪スタートアップエコシステムへの参画の促進

スタートアップの成長には、大型資金調達や民間企業（特に大企業）との連携促進が必要。そのためにもエコシステムへの大企業等の参画促進が不可欠である。

これまで説明した取組に加え、大阪コンソーシアム会員企業との交流促進を進めることにしているが、一層の参画促進策などについて、ご助言いただきたい。

### （参考）取り組みの例

#### ・スタートアップに対する個別伴走支援の強化

前述のとおり（P.14参照）

#### ・起動

前述のとおり（P.16参照）

#### ・エコシステムのプロモーション

Deal Roomへの掲載（P.5参照）

#### ・大阪コンソ参画企業との交流促進

#### ◎コンソーシアム各機関を対象としたスタートアップ連携に関する企業勉強会を開催

コンソーシアムメンバーである大企業・金融機関から、スタートアップとの連携手法、自社におけるVC・CVCの設立、運営、オープンイノベーションの手法、ファンドの組成方法等について、情報交換の場の設定や、専門家による勉強会の実施について要望があったため勉強会を開催。

各機関とスタートアップとの連携に向けた機会づくりに取り組むと共に、コンソーシアムメンバー間の連携や活性化をめざす。

#### ◎勉強会実施内容

##### 【第1回】

日時：2023年9月28日(木) 16:00～18:00（17：30～交流会）

場所：OIH

講師：KDDI株式会社 事業創造本部

Web3推進部長 兼 BI推進部 舘林 俊平 氏

##### 【第2回】

日時：2023年11月28日(火) 16:00～18:30（17：30～交流会）

場所：OIH

講師：三菱地所株式会社 新事業創造部

主事 橋本 雄太 氏